

令和5年度（第1回）教育課程連携協議会議事録

開催日時：令和5年10月19日（木）15:30～16:20

場所：高知リハビリテーション専門職大学 110 講義室

（出席者）構成員：・杉本 徹・安岡 健二・田中 祐児・岡林 輝

和田 譲・近藤 真一（ZOOMにて参加）

平松 真奈美・辻 美和・石川 裕治

オブザーバー：・足立 一・渡辺 憲弘

事務局：川越 久利・弘瀬 由里・西河 紗希

（欠席者）構成員：矢野 和美・栗山 裕司

オブザーバー：濱田 和範

■教育課程連携協議会委員長 挨拶・委員紹介

委員長より参加者の紹介がなされた。

■報告事項

1 令和5年度 前期の報告

資料1：令和4年度国家試験合格率

資料2：令和4年度就職内定状況

資料3：令和5年度 学籍状況

資料4：GPA分布状況

資料5：GPAに関する規程

2 令和5年度 臨床実習について

資料6：令和5年度 臨床実習について

3 令和5年度 地域課題研究Ⅱの進捗状況について

資料7：テーマ一覧

4 令和5年度 後期 学事暦（年間スケジュール）について

資料8：2023年度 学事暦 時間割

5 新カリキュラム改正について

報告事項1～4については、委員長より資料に基づき説明がなされた。報告事項5については、言語聴覚士養成カリキュラム改正が令和6年度から令和7年度に延期になったことから、本学の新カリキュラム改正が令和7年度からとなった旨を、口頭で委員長より報告がなされた。

■ 協議事項

1 分野別認証評価自己点検報告書について

資料9 基準Ⅲ

資料Ⅲ-4-16 学修成果テスト ディプロマポリシー

委員長より資料の各基準について、改善・将来計画を中心に説明がなされ、委員に意見を求めた。

Ⅲ－Ⅰについて：次年度より1年から2年への進級の見直しを行うにあたり、ご意見をいただきたい。

Ⅲ－Ⅱについて：総単位数を減らすことについて、昨年度に委員から賛同をいただいている。言語聴覚学専攻では、新指定規則の指針に沿って進めていくが、臨床実習も含めて考える必要があり、臨床実習の進め方について、ご意見をいただきたい。

Ⅲ－Ⅲについて：授業評価はおおむね良好であるが、学習成果を考えた場合、学外の対象者の方他の協力など、授業方法の工夫について、ご意見をいただきたい。

Ⅲ－Ⅳについて：保健や福祉、その他の医療以外の分野への進路選択が少ないことから、卒業生の進路について、土佐市の取組等を踏まえたご意見や、職能団体等の専門職の立場から新たなご意見をいただきたい。

以上の4項目について、本日の会議時間設定が短いこともあり、時間内での協議が困難であることから、後日メールにて記載用紙を送付するので、委員の皆様からのご意見をいただきたい旨の説明がなされ、委員より了承をいただいた。意見の提出は、令和5年11月13日(月)とする。

2 新カリキュラムについて

委員長より、令和7年度より開始する予定の新カリキュラムについて、令和6年の7月までに作成し文科省へ提出予定との報告がなされ、昨年度に続き、委員の意見を反映させるために、改めて意見をいただきたい旨の説明がなされた。

以上

文責：教務課 川越

令和5年度（第2回）教育課程連携協議会議事録

開催日時：令和6年3月15日（金）15:30～17:30

場所：高知リハビリテーション専門職大学 110 講義室

（出席者）構成員：・杉本 徹・安岡 健二・田中 祐児・岡林 輝

和田 譲・近藤 真一（ZOOMにて参加）

平松 真奈美・辻 美和・石川 裕治

オブザーバー：・足立 一・渡辺 憲弘

事務局：川越 久利・弘瀬 由里・西河 紗希

（欠席者）構成員：矢野 和美・栗山 裕司

オブザーバー：濱田 和範

■教育課程連携協議会委員長 挨拶

■報告事項

1 令和5年度 報告

[資料1 令和5年度 学籍状況](#)

2 令和5年度 臨床実習について

[資料2：令和5年度 臨床実習実施状況について](#)

3 令和5年度 地域課題研究Ⅱについて

[資料3：成果発表会抄録集](#)

4 令和6年度 学事暦（年間スケジュール）について

[資料4：2024年度 学事暦](#)

5 令和7年度教育課程改正について

[資料5：各専攻の新カリキュラム](#)

報告事項1～4については、委員長より資料に基づき説明がなされた。報告事項5については、各委員の意見を取り入れながら作成した新教育課程について、委員長より従来の教育課程との違いや変更点について説明がなされた。

<教育課程について質疑応答>

委員：経営・マーケティング等医療機関で必要なものではあるが教育の仕方としての方向性はどのように考えているか。

委員長：高知工科大学の教員やすでに起業している卒業生に講義をしていただいている。他の科目とのつながりについての説明など、専任教員で対応している。

委員：単位がスリム化しており、勉学だけではなく学生生活を楽しめるようになり、また学ばせたいものも学修できるようになるのではないか。

委員長：学生の意見を取り入れ、地域貢献できる科目群や年次配置のバランスを見直した。単位が減ったことにより、空いた時間で課外活動や関心のある他の資格取得に充てられるように、キャリアガイダンスを含めてサポートできる体制を検討している。

授業の中で地域貢献が出来るよう、学外での協力を視野に授業内容の改善を検討している。改正までに1年あるため、今後取り入れたら良いものがありましたら、ご意見をいただきたい。

その他の意見

委員：単位のスリム化により教員の方にも余裕がでたら、学生が将来を考える時のサポートをしていくにあたり、学生との教員との良質な関係性が構築されることを期待する。

文責:教務課 川越